

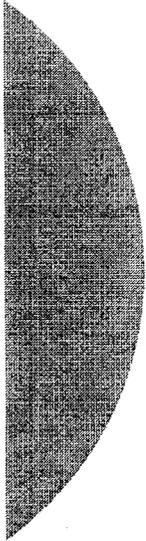


これからの地域子育て支援

(拠点型子育て支援における従事者に対する研修プログラムの開発
H19年主任研究者 日本福祉大学教授 渡辺顕一郎より)

- 子育て当事者である親の主体性とニーズを
尊重
- より豊かな子育てが可能になるように親と
しての成長を促す
- 同時に地域の子育て機能を高めていくよう
な社会的支援

→ 子育て当事者である親が、子育てに主体的
になり「支援されるだけ」でなく支援される側にも
自然に育っていく循環型の地域社会を！



子育てひろばの位置づけ

- 妊娠、出産、乳幼児期の子育て家庭が気兼ねなく集まり交流できる場
- 乳幼児期の子どもたちが安心して、のびのびと遊べる場
- 子育ての情報を得たり、交換できる場
- 親子が育ち合う仲間と出会える場
- 子育て経験や体験を通じて、親同士が学び合える場
- 親自身が主体となれる場、人との関係性を育める場
- 子育ての悩みに寄り添って聞いてくれるスタッフがいる場
- 地域のボランティアをはじめ、様々な人が子育てに関わり、社会全体で子育てを応援する場

地域子育て支援拠点業

ひろば型

センター型

児童館型

- ①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 ②子育て等に関する相談・援助の実施
 ③地域の子育て関連情報の提供 ④子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

常設のつどいの広場を
開設して実施

出張ひろば(加算)
→次年度開設のステップ

地域の子育て力を
高める取組(加算)
→学生等ボランティアの
受入・養成、世代間・異年齢
児の交流、父親の育児参加
促進、公民館等地域に
出向いた支援活動

子育てに知識・経験を有する者
(2名以上)

週3日以上、1日5時間以上

専任の保育士等を配置して
園庭や専用スペース、
地域資源を活用して実施

※公民館等地域に出向いた
地域支援活動の実施が必須

保育士等(2名以上)

週5日以上、1日5時間以上

民営の児童館の学齢児が
来館する前の時間を活用し、
子育て中の当事者等を
スタッフとして交えて実施

地域の子育て力を
高める取組(加算)
→学生等ボランティアの
受入・養成

子育てに知識・経験を有する者
(1名以上)+児童館職員の協力

児童館型

2007年度法人びーのびーのとして 横浜市港北区内3ヶ所で運営

★おやこの広場びーのびーの菊名ひろば

(横浜市社会福祉協議会 親と子の
つどいの広場事業) 毎日12組の親子利用



★妙蓮寺ほっとプラザ ゆーのびーの

独自事業 一時保育とグループ保育(6組)事業



★港北区地域子育て支援拠点 どろっぷ

(横浜市こども青少年局・
港北区委託事業) 毎日80組の親子利用

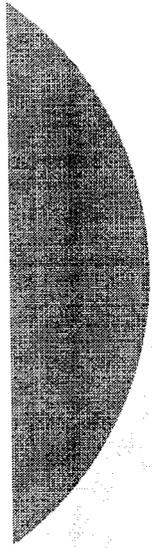


おやこの広場びーのびーの



商店街とともに (今年のハロウィン)





ゆーのびーの



2歳児からはじまるグループ保育と一時預かり

■事業展開の経緯

- ・専業主婦の一時預かりに対する抵抗感の払拭
- ・育児のパートナーとしての保育者
- ・働いていない人にも子どもの保育を可能にするシステム
- ・子どもの視点でのゆるやかなグループづくり
(親から離れて、子ども同士の関わりへの助走期間)